

【事例報告】

高気圧酸素治療により治癒した持続勃起症の一例

中田 瑛浩¹⁾ 中田 浩子³⁾ 吉田 泰行²⁾ 松本 浩一¹⁾ 中島 康代¹⁾
久保田洋子⁴⁾ 安蒜 聡⁵⁾ 伊藤 晴夫⁶⁾
四街道徳洲会病院¹⁾
千葉徳洲会病院²⁾
同愛記念病院³⁾
山形県立置賜総合病院⁴⁾
千葉県立大網病院⁵⁾
千葉大学医学部泌尿器科学教室⁶⁾

静脈閉塞性（虚血性）持続勃起症の治療法はここ数年確固たる進歩はない。一方、高気圧酸素治療の虚血性組織に対する有効性はよく知られるようになった。著者らは病状が生じて23時間後の21歳の静脈閉塞性持続勃起症患者に高気圧酸素を主体とした治療を施行した。まず海面体内の血液を吸引し、ヘパリンを混じた生理食塩水にて同所の注水灌流を行ったが、陰茎は勃起したままであった。この患者を2絶対圧で1日90分の高気圧酸素治療を7日間行ったところ持続勃起症は治癒した。以来、病状の再発は無く、EDも生じていない。

キーワード

海綿体低酸素症, 陰茎腫脹解除

四街道徳洲会病院 〒284-0032 千葉県四街道市吉岡1830-1 (2011年10月より 栗山中央病院 〒284-0027 千葉県四街道市栗山906-1)
受領日/2011年1月21日 訂正稿受領日/2011年6月1日 受理日/2011年9月1日